

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

私達は、陸の玄関熊本駅、上熊本駅を大正10年から預かり、熊本を訪れる多くのお客様をお迎えする県人の代表として、最初に出会う責任あるプロドライバーです。
 私たちは崇高な精神の基に、「親切日本一のタクシーづくり」のビジョンを高々と掲げます。
 その実現に向けて、創業の原点を忠実に実践する決意をもって、お客様から「最も安心」「最高に快適」と言われる、最上級ランクの「安心のスーパーシート」を、ご提供していくことが大切だと考えます。
 安心のスーパーシートとは、安全第一のプロ走行と、短い時間空間での至福の時をご提供できる、環境づくりだと考えます。
 清潔感あふれる快適な空間と、心ゆくまでの満たされた安心感のご提供です。
 そこには笑顔いっぱいの担当乗務員がいます。
 公共交通個別輸送機関としての使命は、「安全 安心 快適 健康」であり、地域社会の利便性と社会性の追求を目指します。
 JR九州様との連携会社であり、熊本駅から最終ゴールまで輸送する、責任重大な使命感を貫く企業として、社会問題に果敢に挑戦し、お役に立つ成長企業へと躍進を続けます。
 SDGsの取り組みについては、CO2削減目標を数値化しEMS(エコマネジメントシステム)を活用し実績を目指します。ハイブリッド車両導入を促進し、「導入計画」を数値化します。
 社員の健康に関する具体的な対策について、産業医と連携し医療検診を推進します。
 安全対策として、「人身事故ゼロ目標」を設定し、熊本県の交通安全運動に寄与します。
 「高度なドライブレコーダーへの更新化」を計画し、「緻密な安全走行管理」・「異常事態発生の可能性分析」と、「緊急時の即時対応」を図ります。
 お客様と社員の命を守り、「人間性の尊厳を追求する企業」を目指します。
 自動運転ステージ4に備え、HMI(ヒューマン&マシーン・インターフェース)の考え方を探求して「人に優しい社会との共有価値を創造」を掲げ、地球規模で貢献します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・ハイブリッド車の導入 ・社員の喫煙者ゼロ運動の展開	・2026年までにハイブリッド車新規購入10台 ・2026年までに禁煙社員70%達成
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・子育てタクシー(妊婦・赤ちゃん検診・塾) ・産業医との連携で安心ある社会環境適応者	・産院、小児科、塾との連携強化 ・産業医との連携で社会環境適応者100%
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・高齢者雇用促進と女性の活躍推進支援 ・外国人社員と女性乗務員の雇用促進	・女性乗務員雇用 2023年4名→2026年までに10名 ・外国人社員雇用 2023年0名→2026年までに2名

<パートナーシップ>

- ・JR九州熊本支社様との連携(待機時のアイドリングストップでCO2削減)
- ・三井住友海上火災保険様 熊本支店との交通事故防止の具体的な対策
- ・熊本ホテルキャッスル様 送迎及び熊本観光案内役として熊本の魅力を発信する
- ・ザ・ニューホテル熊本様 送迎及び熊本観光案内役として熊本の魅力を発信する
- ・平田機工様 海外からのお客様の送迎及び熊本の観光案内役として熊本の魅力を発信する
- ・中村内科医院様 患者様(健康弱者)の足となり生活上の利便性を図っている

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・ハイブリッド車の導入 車齢が高いものや劣化したものから順次代替しているが、現状問題なく稼働できる車両も多いため ・燃料費を5%削減 2020年4月～12月まで新型コロナウイルス感染症の影響により休業を実施していたため	・ハイブリッド車を35台稼働 ・2023 年、車両燃料費を 5%削減目標 ・2023 年度、禁煙乗務員数 60%目標	・ハイブリッド車25台稼働 ・燃料費39%増加 ・禁煙社員60%達成
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・認知症対応タクシーシステムの研究 ・産院、小児科、塾との連携強化 どちらも人員不足で専門のチームを結成できなかったため。 ・社員のメンタルブロック解除 産業医との連携で都度対応中。	・介護施設と連携し認知症対応タクシーシステムの研究 ・産院、小児科、塾との連携強化 ・社員のメンタルブロック解除	・認知症対応タクシーシステムの研究→未着手 ・産院、小児科、塾との連携強化→未着手 ・社員のメンタルブロック解除 →産業医との連携で都度対応できている
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・73歳定年制導入の促進→九州・山口 70 歳現役社会推進協議会会長表彰を受賞し、高齢者が働きやすい環境を整備している。 ・社員男女比率 50:50 目標 女性社員が入社するも、男性社員入社が多く、割合に表すと半数には満たない状況。 ・熊本県観光ガイド自動翻訳機導入 外国人のお客様対応あたって翻訳アプリを活用している	・73歳定年制導入を促進する ・社員男女比率 50:50 目標 ・熊本県観光ガイド自動翻訳機導入を定性目標とする	・73歳定年制導入の促進→九州・山口 70 歳現役社会推進協議会会長表彰の受賞 ・社員男女比率 50:50 目標→未達成 ・熊本県観光ガイド自動翻訳機導入を定性目標とする→翻訳アプリの活用

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。